

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 16名回答、回答率 80%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

中高生がメインの教室なので、机と椅子を基本とした学習・活動環境を整えている。教室にはクールダウンスペースを設けており、気持ちを落ち着かせるためにクールダウンが必要な生徒にも対応できる環境を構築している。さらに、ハウスダスト等に配慮が必要な生徒もいるため、掃除機およびロボット掃除機を導入し、日常的な清掃を徹底することで清潔な環境の維持に努めている。

### ○業務改善

日々、支援前には約30分間のミーティングを実施し、前日の様子や支援上の気づきを共有したうえで当日の支援方針を確認している。

### ○適切な支援の提供

個別支援計画に基づいた支援を行っており、半年に一度の面談を通して、生徒の成長や変化に応じた支援計画の見直しを行っている。また責任者だけでなく全指導員が意見を出し合い、それぞれの専門性や資格を活かしながら、多角的な視点で生徒支援に取り組んでいる。

### ○関係機関や保護者との連携

医療機関との連携体制を整えており、怪我や事故などの緊急時には速やかに受診できる環境を構築している。特に、頭部(肩より上)の怪我については、大小に関わらず後から症状が出る可能性も考慮し、必ず医療機関の判断を仰ぐ対応を徹底している。

### ○保護者への説明責任等

毎月、前月の活動報告および次月の活動予定を記載したニュースレターを配布し、お知らせしている。また祝日開室時には活動の様子を写真で記録し印刷して保護者へ配布している。活動内容が視覚的に伝わるよう工夫し、保護者の皆様に安心していただける、透明性の高い運営を心がけている。

### ○非常時等の対応

月に一度、避難訓練を実施しており、地震・火災・水害・不審者対応など、さまざまな状況を想定した訓練を行っている。また、年に1~2回程度、本所防災館やそなエリア東京といった体験型防災施設を利用し、生徒および職員の防災意識の向上に努めている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

教室内の環境については、8割以上の保護者の方から「十分なスペースが確保されている」「清潔な環境が保たれている」との評価をいただいた。

### ○適切な支援の提供

生徒への支援内容については、約9割の保護者から高い評価をいただいた。

その一方で、「地域の子どもや他教室との交流」については、「分からない」と回答される方も多く見られた。

### ○保護者への説明等

「日頃から子どもの様子を保護者と伝え合い、健康や発達の状況について共通理解を持っているか」という質問に対し、9割以上の保護者から「はい」との回答をいただいた。

### ○非常時等の対応

毎月避難訓練を実施しており、月初に配布するニュースレターへ訓練実施の案内を掲載していることから、「訓練が行われていますか」という質問に対して9割以上の方から「はい」との回答をいただいた。

### ○満足度

「事業者の支援に満足していますか」「子どもは通所を楽しみにしていますか」といった質問に対し、8割以上の保護者から「はい」との回答をいただき、高い満足度が得られている結果となった。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・保護者の相談の場・保護者同士の情報共有の場として保護者会の開催について検討する。
- ・支援の中での不安や不明点を職員同士で話すことができる環境・関係づくりを行う。
- ・ブログの定期的な更新やニュースレター等を活用し、定期的な情報発信を行っていく。

### ○改善できた点・まだ残る課題

・昨年度の目標として掲げていた保護者会の開催については、実施に至らなかった。

平日開催では参加が難しい保護者も多いことから、今後は土日を活用するなど参加しやすい開催方法を検討していく。

・児童発達管理責任者・常勤指導員・契約社員といった雇用形態に関わらず、全職員が意見を出しやすい環境作りに取り組んだ。

・ニュースレターは毎月継続して作成・配布し、活動や方針について情報発信をおこなうことが出来た。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

子ども一人ひとりの特性を理解した支援や、個別支援計画に基づく丁寧な関わりについて、多くの保護者から高い評価を得られている。

日々の送迎時や連絡帳を通じた情報共有により、保護者と子どもの状況を共有しながら支援を進められている。

教室内の清潔な環境づくりや安全面への配慮についても肯定的な意見が多く、生徒が安心して過ごせる環境が整えられている。

### ○改善点

地域の他事業所や法人内他事業所との交流、怪我発生時の対応の流れなどについて「わからない」という回答が一定数見られたため、教室の取り組みや方針を十分に伝えることができていない。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

・保護者に方針や取り組みがしっかりと伝わる教室運営ができる様に、保護者が教室の取り組みや支援内容をより理解できる機会を増やし、安心して子どもを預けられる環境づくりに努める。

・地域とのつながりをより強化するため、多職種連携(学校・相談支援事業所・専門機関)を図り、教室のみではなく地域全体で利用者を支える教室運営を目指す。

### ○1年間で取り組む具体策

・保護者会や教室公開、療育参観など、保護者が実際に教室の様子を直接見て知ることができる機会を年2回以上設ける。

・学校訪問や連絡協議会への積極的な参加を通じ、教室での様子と学校・家庭での様子を共有し、一貫性のある支援及び個別支援計画を作成する。